



Ianseo スコアキーパーNG チェックリスト

バージョン 1.0 日本語-Japanese

Ianseo ソフトウェアと Ianseo スコアキーパー (ISK) NG アプリを利用する際のチェック事項です。これらは実際の競技会での利用者の経験に基づいており、共通の問題を防ぐために有効です。

1. ハードウェア(機器構成)

1-1. ローカル Wi-Fi ネットワークについて

- 的前で Ianseo サーバーに入力端末からアクセスできるようにするために、競技会場内で Wi-Fi が利用可能なことを確認してください。
またアクセスポイントが全ての的をカバーしていることを確認してください。特に端の的前や距離が異なり陰になりやすい的の前からも通信ができることを確認してください。アンテナを可能な限り高い位置に設置することで、障害物を減らすことが出来ます。
- パスワード制限が無いなど、フリーアクセスになってはいけません。たくさんのユーザーが同じ Wi-Fi ネットワークにアクセスすれば容易に負荷がかかり、選手の得点入力を阻害します。
- 競技会で利用する入力端末 + α の接続台数を許容しているか確認してください。
- Wi-Fi (無線) 接続は入力端末とアクセスポイントの間のみにするべきです。アクセスポイントやルーター、スイッチハブ、Ianseo サーバー機などの間は、必ず有線接続にするべきです。
- ルーターにモバイルルーターを接続するなど、外部インターネットに接続していることが好ましいです。競技会結果をエンド/セットごとに集計し、Ianseo.net に掲載することができます。
※2024年8月現在、外部インターネットに接続されていないと、自動的に入力端末内のみ素点が保存され、Ianseo サーバーに点数が自動で送信されないオフラインキャッチ状態になってしまうケースがあります(選手が手動で「サーバー再接続」を実施すると送信できる場合があります)。

1-2. 入力端末について

- 競技会で利用する端末数を事前に確認しましょう。不足する場合にはデバイスグルーピング機能を利用してください。
- 選手自身の端末を利用する場合は、あらかじめ ISK NG アプリをインストールしてもらいましょう。特に大規模競技会で、競技会当日に利用端末の決定や ISK NG アプリのインストールを行うことは極めて困難です。また運営者側で予備の端末を準備できると充電切れなどの不測の事態に対応できます。
- 競技会中に休憩があった場合、Wi-Fi 接続が切断されていないかを確認してください。Wi-Fi が切断されていたり、個人のネットワークに切り替えただまになっていたりする可能性があります。
- 端末を貸し出す場合、番号を振っておきましょう。的番号と同じ番号の端末を貸し出すと、競技会終了時に未返却の端末が探しやすくなります。
- 画面が小さい場合、ISK NG アプリのメイン画面で全選手が 1 画面内に収まらない場合があります。下にスクロールして表示することができますが、選手が気付かず別の選手の採点画面で入力してしまう場合があります(D 立ちの選手の素点を 1 エンド先の C 立ちの選手の採点画面に入力してしまう)。

2. ソフトウェア

2-1. 事前準備編

- 最新版の Ianseo ソフトウェアを利用してください。“モジュール”→”Ianseo を更新する”から更新できます(最新バージョン・rev は Ianseo.net に数字と更新日が表示されています)。どちらも競技会前日には確認し、複数の Ianseo サーバーを運用している場合はすべてのバージョンを揃えるようにしましょう(Ianseo ファイルは同バージョン同士での移動が原則です)。
- 最新版の ISK NG アプリを利用してください。ISK NG アプリ、Google Play もしくは Apple Store でアップデートしてください。
- ISK NG アプリの Lite・Pro・(Live)のどのモードで競技会を運用するのかを決めましょう。Pro モードで行う場合には、大会コードの取得→大会コード認証→Pro ライセンスコードの購入と時間がかかるため遅くとも1週間前には準備を始めましょう。※Live モードは2024年8月現在、利用できません。
- Pro モードで競技会を実施するためには2日前までに購入した Pro ライセンスコードで正しく動作するかのテストを行ってください。もしも上手くいかない場合には、Ianseo グループ(Email: codes@ianseo.net)にメールで状況を報告し、新しいライセンスコードを取得するなどの対応を取ってください。
- 事前テストは重要ですが、競技会場以外の自宅などでテストを行った場合、最終的には競技会場で利用する IP アドレスになっていることを確認してください。“大会情報”→”大会情報を設定する”→”大会基本情報設定”から Ianseo ファイル内の「Ianseo 用サーバーURL」を確認できます。この確認を行うことから、QR コードを出力してください。
- OS バージョン(Linux と Windows)などによって QR コードの出力方法が異なる場合があります。競技会当日に利用する OS の Ianseo サーバーに Ianseo ファイルを移してから QR コードを出力してください。

2-2. 当日運営編

- 事前テスト通り Wi-Fi ネットワーク環境構築や ISK NG アプリと Ianseo サーバー間の通信ができることを最優先で確認しましょう。
- 受付と連携し、欠席者情報を“ランキングラウンド”→”点数管理”→”標準テーブルで編集”の IRM 状況に反映させましょう。変更があった的の入力端末は再度 QR コードを読み込み、欠席者が非表示になるようにしましょう。
- Ianseo サーバーに負荷がかかると順位計算が追い付かず、誤った順番で成績順位が表示される場合があります。“ランキングラウンド”→”点数管理”→”素点を管理(管理者用)”から「ラウンド順位を再計算」や「総計順位を再計算」を実行しましょう。
- イベントを作成したにも関わらず、ランキングラウンド結果などに選手が出てこない場合には、登録参加者に決勝ラウンドが許可されているかを確認しましょう。“参加者登録”→”個人戦/団体戦管理”で該当選手の「決勝ラウンド-個人/団体」が緑色になっていることを確認しましょう。
- ISK NG アプリで入力制限された場合、“端末設定”→”ISK 端末入力規則の設定”でロックされていないこと、スコアカードチェックで消し込んでしまっていないことを確認しましょう。誤ってスコアカードチェックした的は Ianseo サーバー側で各選手の素点を1つ変更すると再度端末入力可能になります。